

全 仏

NO. 242

9 / 53



W F B

日本大会

来月一日に開幕

国内も続々参加登録

第十二回世界仏教徒会議(WFB)日本大会の開幕まで、残すところ三十日となり急ピッチで準備がすすめられ、いよいよ盛り上がりを見せている。

海外より正式代表団、非公式オブザーバーなど四百名が来日。国内参加者も続々と参加登録をされ、事務局ではこれら参加者の登録作業など、各部とも細部にわたって大奮闘、特に築地本願寺、増上寺などの会場、地方大会開催地など最終確認のチェックを急いでいる。各部の準備状況は次のように進行している。

渉外部

八月十六日までに、海外より二百五十一名の参加申し込みがあり、内訳は四十八センターから、正式代表団二百二十五名、役員十六名、ゲスト十名となっている。なお非公式代表団も来日しますが、最終的な集計はもう一歩である。

正式代表団については最終登録の段階

であるが、本大会はともかく、代表団を

地方大会に振り分ける作業とその連絡は意外に煩瑣で、I S S社よりの有能な出向社員の力を借りている。

これからは仕事の重点を国内参加者に移す。すでに参加案内とガイドブックを送付し、続々と参加申込書が事務局に届いているが、これらを登録簿に記入し、

日本代表団

代表

- 町田宗夫 全仏理事長
- 桜井大乗 大会実行委員長
- オブザーバー
- 山本 杉 全仏常務理事

団員

- 花山勝友 国際専門委員
- 松濤弘道 "
- 平原隆秀 全仏評議員
- 奈良康明 国際専門委員
- 望月良晃 "
- 佐藤良純 "
- 佐伯真光 "
- 坂東性純 大会実行委員

行事別、資格別の参加証を送付する作業は、四千八分を超えるので大作業と思われる。

接待部

大会を間近に接待部の現況は、各行事ごとに煮つめの段階である。

宿舎については東京グランドホテルが食事など細部決定。芝パークホテルはあと現場打ち合せ。

築地本願寺、増上寺についての接待は両寺役職者と会合を重ね最終確認に息のつくところである。

東仏レセプション、会長招宴はそれぞれ東仏側、迎賓館担当と協議している。

国立劇場の歓迎大会は、劇場側とはほぼ打ち合せ済みであり、読売ランドは現地にて細部を協議する。

京都寺院参拝についてはJTB、京都府仏にて検討し、スケジュール決定後に訪問寺院へ依頼する。

国際会議場のサヨナラパーティーは関西事務局、京都府仏にて大筋が決定している。

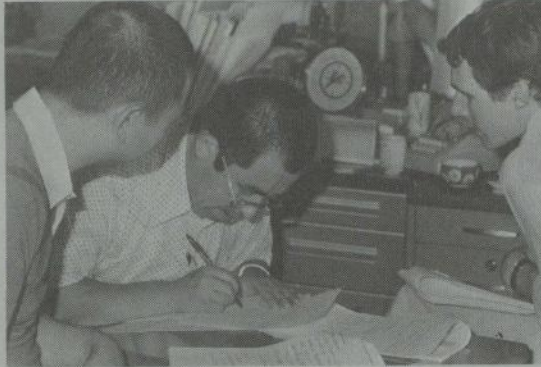
勸募部・経理部

都道府県仏教会へ依頼した協賛金は、いくつかをのぞいて確約いただき、別掲のごとく入金されたところもある。

特別有名寺院は、各宗門の総大本山を中心とし、他に有力寺院にもお願いした。作業が遅れたにもかかわらず、非常に協力的なところが印象に残る。

今後は、広く一般の協力を仰ぐ方向で全力をつくしたい。

経理については、予算更正を九月初旬



横文字ばかり、急ピッチの渉外部

に開かれるであろう理事会において、形をととのえたい。

当初の経費の見積りより、諸事にわたって増加の傾向である。

——式典部——

開会式、歓迎大会、世界平和祈願法要、閉会式の各小委員会が、最終的に行なわれ、予算、問題点等のつめを行った。特に、開会式のリハーサルを九月中旬に行う方向で現在関係者と折衝している。このリハーサルには、本番と同じような次第で、時間、代表団の入場方法、案内方

法、司会、その他問題点をたしかめ、十月一日には、まごつかず開会式を進行させられるようにしたい。

なお十月五日に増上寺にて行なわれる式は、世界平和祈願法要という名称に決定した。その他地方大会は別図の通り最後のつめを行っている。

——記念事業部——

一、大会記念出版事業 英文による日本仏教の紹介「Understanding Ja panese Buddhism」はすでに初校を終り、当初予定の二百頁が約三百五十頁に

なる。発刊の九月末日に向け作業中。

二、仏教英語学生養成 昨年五月より始めた事業で、四十数名の参加者も現在では二十数名の精鋭となり、九月一日より四泊五日箱根での仕上げの合宿を行なう。

三、展示会事業、大会記念の特別展示を各方面にお願いしているが、関西方面を中心に二十ヶ寺の協賛をえて現在準備中。大会々場になる芝増上寺でも韓国、台湾の名僧の墨蹟も交えて開催される。

——会議部——

WFBJB日本大会へ寄金

【香川県仏教会扱】 香川県仏教会 五拾五万円

(築地本願寺)

五万円 芝原郷首、金子為雄、杉田光治
宮本貞雄

参万円 竜山哲成、石川雄浩
藤本竜珠、細川量雄、大塚行英

貳万円 福城勝、長崎義雄、進士正男、
秋朝芳夫

壹万円 寧蕙海、山本清淳、植葉郁之助
北村都美、植葉道勇、佐久間武

佐久間登、谷田部宗一、本川幸
園府田馨、宮崎直江、守川誓治

秋元登喜井、佐藤八重、金子巖
ハント・トク、中江なみ、中江

とみ子、広橋エイ、竹口兼治、
山村清男、久保喜太郎、茂岡和

男、広井正保、日野教正、樋口
円栗、中本松次郎、今村要、石

丸忠治、太田定、大下善寿、谷
村新太郎、北川博資、花井栄蔵

中村末雄、五井空吉、反保寿彦
成田了恵、桑島政昇、土屋要

【静岡県仏教会扱】 西伊豆仏教会 五万七千七百円

拾八万六千円 田方郡
六万七千七百円 伊東市

三万九千六百円 熱海市
八万四千四百円 三島市

拾七万四千九百円 沼津市
貳万七千八百円 御殿場市

貳万四百円 裾野市
五万四千貳百円 駿東郡

参万六千七百円 富士宮市
拾貳万四千九百円 富士市

参万参千六百円 富士北

五万七千貳百円 庵原郡

拾九万七千貳百円 清水市

参拾参万七千六百円 静岡市

九万五千貳百円 焼津市

拾六万八千円 藤枝志太

七万参千四百円 島田市

拾五万四千円 榛原郡

拾四万九千六百円 小笠郡

七万四千四百円 掛川市

拾貳万四千四百円 袋井市

参万参千七百円 磐田市

七万参千六百円 磐田南

八万五千五百円 磐田北

六万七千四百円 浜松市

参拾万参千六百円 浜北市

七万六千貳百円 浜西市

四万八千四百円 浜名郡

参万参百円 周智郡

七万四千七百円 引佐郡

七万参千四百円

作業は順調にすすんでおり、九月十六日に講師、会議委員等が最終打ち合せをして細部にわたってチェックをします。

すでにほとんどの準備が終了し、テーマ、講師、司会者、運営担当者などが決定し、特に基調講演(中村元博士、各分科会問題提起(井上智勇、藤吉慈海、西義雄の各先生)の要旨はガイドブックとともに送付済みとなっております。

また、会場の増上寺との打合せも済み、大殿、地下ホール、食堂、催事場などの下見も充分ですし、WFJB本部の主管する執行委員会、常設委員会などの会場となる東京グランドホテルの部屋割等も準備万端です。

あとは大会にはいってからの作業で、各会議、分科会などのまとめ報告があるだけにたいへんである。

——広報部——

業界三紙への全面広告にはじまり、各寺院への年賀状などによって大会PRをしたあと、大型のメインポスターを主たる寺院や宗派、果仏等に配布、そのあとお盆にむけての新聞を使用してのポスターを全寺院へ送付し、より大会円成への呼びかけをおこなった。

また各宗派、果仏、大寺等へは今大会のPRとして、宗報、機関紙、寺報などを依頼し、細部にも大会の周知徹底を呼びかけていた。なお、彼岸にむけてメインポスター等を再度配送、業界紙へも広告する。

昭和53年9月1日

WFB大会日程

9月29日

◎代表団来日

- 10時00分 代表団登録 東京GH
- 11時00分 昼食 東京GH・芝PH
- 1時00分 大会本部会議 東京GH
- 4時00分 夕食 東京GH・芝PH

9月30日

- 8時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 10時00分 WFB執行委員会 東京GH
- 11時30分 昼食 東京GH
- 3時00分 WFB総会 東京GH
- 6時00分 夕食 東京GH・芝PH
- 7時30分 運営委員会 東京GH

10月1日

- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 9時20分 開会式(第一回全体会議) 築地本願寺本堂
- 11時30分 昼食 築地本願寺
- 2時00分 基調講演(中村元博士) 増上寺大殿
- 3時00分 第一分科会 増上寺ホール
- 4時00分 第二分科会 食堂
- 6時00分 第三分科会 催事場
- 6時00分 青年部会 講堂
- 6時00分 東仏主催レセプション

3時00分 WFBY開会式 増上寺講堂

10月2日

- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 9時00分 礼拝 増上寺大殿
- 9時30分 第一分科会 増上寺ホール
- 11時30分 第二分科会 食堂
- 11時30分 第三分科会 催事場
- 11時30分 青年部会 講堂
- 3時00分 パネルディスカッション 各所
- 6時00分 全仏会長招宴 白金迎賓館
- 11時00分 全日仏婦昼食会 東京GH
- 1時00分 青年部会記念講演とシンポジウム 増上寺講堂

10月3日

- 7時00分 朝食 東京GH
- 9時00分 礼拝 増上寺大殿
- 9時30分 常設委員会 (1)財政、(2)出版、広報、教育、文化、芸術、(3)布教、(4)人道、奉仕、(5)団結と連帯、(6)青年
- 11時30分 昼食 東京GH

ホテルオークラ

国立劇場

10月4日

- 4時00分 歓迎大会
- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 9時00分 起草委員会 東京GH
- 1時00分 記念法要 読売ランド
- 1時00分 自由時間
- 6時00分 夕食 東京GH・芝PH
- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH

10月5日

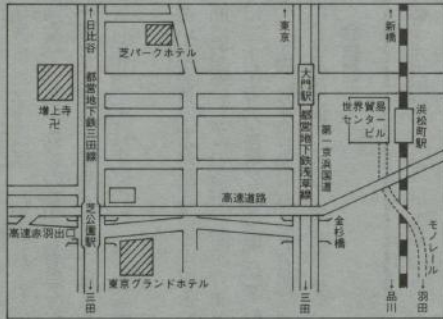
- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH

10月6日

- 8時30分 全体会議 増上寺ホール
- 10時10分 平和祈願法要 増上寺大殿
- 11時30分 昼食 増上寺各所
- 2時00分 上洛(新幹線)
- 6時00分 夕食 新都H
- 7時00分 朝食 新都H
- 9時00分 本山参拝
- 4時30分 閉会式 京都国際会議場
- 6時00分 京府仏主催サヨナラパーティ 京都国際会議場

主会場への交通

宿泊ホテル、会場周辺図



△築地本願寺▽

- 地下鉄日比谷線 築地
- 都バス・東京駅 北砂 築地
- 都バス・有楽町 錦糸町 築地
- 都バス・新宿 晴海 築地
- △芝・増上寺▽
- 山手線 京浜東北線 浜松町
- 都営地下鉄三田線 御成門
- 浅草線 大門
- 都バス・東京駅 自皇 芝公園
- △国立劇場▽
- 地下鉄丸の内線 国会議事堂前
- 有楽町線 水田町
- 都バス・晴海 新宿 三宅坂(前)
- 都バス・渋谷 お茶の水 車町(裏)
- △京都国際会議場▽
- バス⑤ 京都駅 岩倉 岩倉

日本大会の特定の行事に

一般も参加できます

参加者へのご注意

参加証は必ず提示

第十二回WFB日本大会への参加については、左記行事が一般参加者に門戸を開く原則となっております。

参加ご希望の方は、WFB事務局（全仏内）にガイドブックを請求のうえ、添付の参加申込書により、至急参加登録をして、参加証をお受け取り下さい。各行事とも参加証のない場合は、入場をおこ

とわりすることがありますのでご了承下さい。

基調講演 一日 二時 増上寺

分科会 一日 三時

パネル・ディスカッション 一日 九時半

三時半

記念講演会 三日 一時読売ホール

平和祈願法要 五日 十時半 増上寺
なお全日本仏教会加盟団体よりの推薦があれば、他の行事にも参加できる場合もありますので、所属する宗派、都道府

第十二回WFB日本大会には、より多くの方々に参加して頂くよう考えておりますが、各会場の収容人員制限などにより、行事内容によって参加者を区分せざるをえませんことご了承下さい。
よって、参加するにあたっては必ず参加申し込みのうえ、参加登録をして下さ

「仏教徒が思考する未来社会像」

中村元博士

基調講演要旨

地球社会の到来とともに、人類は未だかつて経験したことのない全く新しい状況のうちにおかれることになった。

従来は世界に多数の国々が対立している事実に対して普遍宗教あるいは世界宗教は、それを既定の事実として承認し、それらの国々に行きわたる宗教であることを目指した。仏教とてその例外ではない。

しかし狭い地球の上に諸国家が並存し、それらが互いに他の国を侵略しつつあるのを放置しておいてよいものだろうか？

諸国家の対立のある限り、世界平和Vというモットーも単なる空言にすぎなくなる。具体的にはどのような状態が、諸国家の対立を克服し得るのであろうか？ 仏教の立場からはどのような立言が為され得るであろうか？ 世界国家というのは、一介の夢なのであ

うか？
さらに近代技術文明の進展の結果、今や人間の生存は従前とは全く様相を異にするに至った。環境保全、公害などの問題が起り、人間は外界との調和を失って自己破滅に陥りつつある。人間の生存が人間自体によって脅やかさ

れるようになった。こういう問題について仏教の立場からどのような提示をなし得るのであろうか？
問題はさらに深刻になって行く。人間自身がそれ自身のうちの調和、均衡を失って、破滅に進んで行くかのごとくである。精神的には人間は狂って来たのではないか、という不安に襲われることがある。また人間は生存をつづけて行くだけの価値のあるものなのであろうか？

これらの諸問題について「仏教は何を教えるのか？」ということを考えて仏教の指導的意義を解明、検討する。

県仏教会等にお問合せ下さい。

(参加手順) ガイドブック請求・参加申込書送付・参加者登録・参加証送付・当日参加証携へ会場受付提示

い。申し込みをされますと参加証が送付され、この参加証が各行事への参加に必要です。

(大会当日) 各行事ごとに、受付において必ず参加証を提示して下さい。受付をすませますと、この参加証が名札となりますので会期中左胸に着用下さい。なお紛失の場合は、ただちに登録デスクにて再発行の手続きを受けて下さい。正式代表団以外は各行事ごとに受付が必要となりますので注意して下さい。

(案内デスク) 期間中をとりまして、東京クラントホテルと増上寺に総合案内デスクが設置されます。また行事ごとに受付デスクがありますので、一般参加者はこれらを通して連絡、お知らせが行なわれます。

(事務局) 大会事務局は、東京クラントホテル内に設置しますので、ご利用の方は総合案内デスクを通してご連絡下さるようお願い申し上げます。

◎各会場(ホテルを含む)ともゲタバきは迅速下さい。ゲタの方は又リップバをご利用下さい。

——大会案内メモ——

【開会式】

十月一日午前九時二十分より、築地本願寺において、外国代表団、国内来賓など多数の出席を得て盛大に行なわれる。

ブーンWFB会長、大谷光真大会々長の挨拶や、来賓祝辞、メッセージ披露などが行なわれる。

【全体会議】

十月一日に第一回目の全体会議が築地本願寺で、第二回は十月五日に増上寺において行なわれる。

【WFB総会】

大会前日の九月三十日に東京グラントホテルにて開催される。WFB最高決議機関で、一セクター二名の代表により決議される。

【常設委員会】

十月三日に東京グラントホテルにおいて開かれ、①財政 ②出版、広報、教育文化、芸術 ③布教 ④人道奉仕 ⑤団結と連帯 ⑥青年の六委員会が開かれ、全代表が配属される。

【基調講演】
「仏教徒が思考する未来社会像」のテーマで、中村元博士が基調講演する。十月一日午後二時より増上寺大廳にて。

【分科会】
十月一日～二日にわたって増上寺三會場が開かれる。第一分科会は「近代諸思潮と仏教的思考」、第二分科会「アジアの現状と仏教徒の使命」、第三分科会「二十一世紀の僧伽形成のテーマ」が開かれる。

【パネルディスカッション】
十月二日午後三時よりメインテーマに

などを書いた掲示は多い。出入口に貼ってあったり、なぜか男子トイレの目の前に貼ってある。各寺院のトイレをのぞいてみよう。

【歓迎レセプション】
東京都仏教連合会主催により、十月一日午後六時より、ホテルオオクラ平安の間で盛大に開かれる。

【会長招宴】
十月二日午後六時より、白金迎賓館において、全仏・大谷光真会長が代表団、来賓、本大会関係者等を招待して開かれあわせてWFBYの招宴も一緒に行なわれる。

【WFBY開会式】
世界仏教青年連盟(WFBY)の開会式は十月一日午後三時より増上寺にて開催される。

【WFBY記念講演】
十月二日午後三時より、増上寺講堂において、斎藤茂太氏が「精神衛生あれこれ」と題して講演する。

【仏婦昼食会】
仏婦独自の歓迎行事として、十月二日午前十一時より、東京グラントホテルに婦人参加者を招いて開催されるもので、日本舞踊、茶席なども予定されている。

【記念講演会】
十月三日午後一時より、読売ホールにて催され、ひろく一般の方に参加していただく。

寺院トイレ考

ある布教研究会で、講師いわく「文書掲示布教でもっとも目につくのはトイレである」と。しかし説教的な名文の掲示はあまり拝見したことがない。

脚下照顧

▽スリッパを後の人のためにきちんとしておきましよう。(H寺)
▽トイレはみんなの使用するところです。きれいにしましょう。(K寺)

▽かならず手を洗うこと。(S寺)
▽使用後は水を流すこと。(K寺)
▽通常みかける注意書きはこのような文が一般的であるが、男子トイレとなるとユニークな文もみられる。

【閉会式】
十月六日午後四時より、京都国際会議場において開かれ、挨拶のあと分科会報告、宣言決議文、土産品贈呈などが行なわれる。

包括宗教法人等 管理者研究会議

文化庁主催による「昭和五十三年度包括宗教法人等管理者研究会議（京都会場）」は、十月二十七日（金）午前十時より、京都堀川会館会議室において開催される。

会議は挨拶、趣旨説明のあと協議にはいり、①宗教法人の組織について ②被包括関係について ③自由討議などが行なわれる。なお、全仏関係としては①の司会者を高橋勇首師（妙心寺派）、②の発題を小林弘有師（御室派）が行なうことになっている。

◆掲◆示◆板◆

▼真言宗御室派、総本山仁和寺では、第四十三世立部瑞祐門跡の晋山式を九月十五日に執行する。

▼高野山真言宗では、高野山金剛峯寺内に、宗祖大師ご入定千五百五十年遠忌記念事業の一環として工事をすすめていた同宗々務庁が竣工し、九月六日午前十時より落成式を挙げる。

▼浄土宗大本山増上寺では、大野法道法主の任期満了にとまじり、新たに第八十四世法主に藤井実心師を推戴し、八月五日に入山式を執行した。なお晋山式は十一月十六日に、大野前法主の退山式と併せて執行する。

▼大正大震災、都内戦災犠牲者の秋季

昭和五十三年九月一日発行
九月号 第二一四一号

発行人
編集人

安 罇

本 利 正 浩

発行所

財団法人

全 日 本 仏 教 会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五（東京本願寺内）
電話 〇三（八四三）六三四一、三

大要は東京都慰霊協会の主催で九月一日執行される。

▼「全仏」八月号八頁、組織専門委員のところで、河野了永師が脱けておりました。お詫び申し上げます。

▼「全仏」十月号は、第十二回WFB日本大会開催のため、十月号・十一月号合併号（大会報告号）として十一月一日発行の予定ですのでご了承下さい。

大会開催地

- 第1回 コロンボ センロン
- 第2回 東京・京都 日本
- 第3回 ランゲン ビルマ
- 第4回 カトマンス ネパール
- 第5回 パンコック タイ
- 第6回 ブノンペン カンボジア
- 第7回 サルナート インド
- 第8回 チェンマイ タイ
- 第9回 ペナン マレーシア
- 第10回 コロンボ スリランカ
- 第11回 パンコック タイ
- 第12回 東京・京都 日本

哀 悼

岡野 正道師（孝道教団大統理）

八月十五日、脳こうそくのため遷化。七十八歳。十八日孝道山本仏殿において密葬。本葬は九月十八日午後二時より執行される。

昭和十一年に孝道教団を創立し、その後仏教を通して国際親善交流に多大の貢献をされた。合掌

事務総局録事（五月）

- 一日 局内会議
- 十一日 局内会議
- 十八日 孝道教団大統理密葬参列
- 二十五日 局内会議
- 二十九日 長野県仏会議

WFB事務局長録事（七月）

- 一日 局内会議
- 二日 開会式関係会議
- 四日 特別勸募委員会
- 七日 増上寺関係会議
- 十日 歓迎大会関係会議
- 十一日 会議委員会
- 十二日 局内会議
- 十五日 WFBY打ち合せ
- 十八日 局内会議
- 二十一日 関西事務局打ち合せ
- 二十二日 接待委員会
- 二十三日 読売ランド打ち合せ
- 二十四日 記念事業小委員会（展示）
- 二十五日 救援委員会
- 二十五日 正副委員長会議
- 二十九日 局内会議
- 二十九日 式典委員会
- 二十九日 東仏関係打ち合せ

歌いもの

監修 吉川英史

10月13日（金）6時
久米歌 雅楽紫絃会
声 明「云何唄・散華」天台宗
声 明「教化舍利和讃」真言智山派
狂言「七つ子・住吉」野村 万作
その他
10月14日（土）2時
地 歌 榎 枕「福田 博彦
上方端歌「袖の露」藤井久仁江
その他
一八〇〇円
前売開始—9月22日（金）

国立劇場

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965